月間報告書　2026年4月分

学籍番号　　留学先　北京第二外国語学院

氏名　　留学期間　2026/04/01～2026/09/19

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	中□□□I	中級中国語I	2520	授業
2	中□□□I	中級リーディングI	540	授業
3	中□□听I	中級視聴覚I	1080	授業
4	中□听力I	中級リスニングI	630	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

事前にネットで受けたテストと、到着後に受けた口頭テストによってクラスが決まりました。生徒は30人ほどです。中級1班（2-1）というクラスで、HSK5級を目指す生徒がほとんどです。授業は1コマ45分で、総合は週3日、合計で8コマあります。単語や文法の解説のあと本文に入るという流れで進みます。単語や文法は先生が言い換えたり、具体例を出しながら説明してくれるのでわかりやすいです。毎回宿題があり、WeChatで提出して添削してもらいます。毎週月曜日には単語の聞き取りテストがあります。

中間テストでは動詞に合う名詞を選ぶ問題や単語の穴埋め、空欄に指定された単語を使って短文を書く問題、並び替え、作文などが出ました。

No.2

決められた時間内に文章を読んで問題を解く練習をする授業です。週1回、2コマ連続で授業があります。答え合わせをしながら先生が解説してくれます。

中間テストは、授業でやっているHSKのリーディングのような問題が出ました。

No.3

週1回3コマあります。動画を見て教科書の穴埋めをして、その中のセリフをまねてネイティブのような語気やアクセントで話す練習などもします。それぞれのテーマで教科書が分かれていて、2週で一冊終わるくらいのペースで進みます。一冊20ページくらいで6冊あります。1テーマ終わるごとに1分の発表も行います。

筆記の中間テストはなく、1分の発表がテスト代わりというような感じでした。

No.4

週1回、2コマ連続で授業があり、２コマで1課進みます。最初に単語の練習と先生の解説があり、その後音声を聞いて教科書を埋めていきます。最後に単語や文法の練習問題を解き、みんなで答え合わせをします。

中間テストの問題の形式は教科書と同じで、授業でやっていない課がそのまま出てきたような感じでした。個人的に中間テストの中で1番難しかったと感じました。

Ⅲ．生活編

3月分（前半）文字数が多いので5月分に続きます

渡航前にWeChatの新入生グループに参加し、事前に情報共有を受けました。また、飛行機搭乗前にeSIMの設定を済ませていたため、到着後もスムーズに通信を使うことができました。 空港到着後は入国審査があり、指紋と顔写真の登録を行いました。事前にオンラインで入国カードを記入していたため、入国は比較的スムーズに進みました。実際には、入国審査の列に入る前に、入国カード記入後に表示されるQRコードを提示するだけで、詳しく確認されることはありませんでした。一方で、QRコードがない人は列の入り口で止められている様子も見られたため、事前に準備していてよかったと思いました。 また、個人的にいろいろ質問されるのではないかと構えていましたが、特にそういったことはなく、想像していたよりもスムーズに入国できました。しかし、荷物の受け取りに時間がかかり、空港で最も時間を要したのはこの部分だったと感じています。 フライトは9時発・11時25分着で、13時前には空港を出ることができました。

空港を出た後はタクシー乗り場から大型のタクシーに乗り、約1時間で学校に到着しました。料金は230元でした。学校に到着した際、門が顔認証式になっており、どこから入ればよいか分からず戸惑いましたが、隣接する付属の幼稚園の職員の方に尋ねたところ、親切に教えてもらい無事に入ることができました。到着してから不安でしたが、現地の人の優しさを感じました。

ただ、到着直後に一番大変だったのは、Alipayなどの電子決済がすぐに使えなかったことです。中国では現金を使う機会が少ない、現地の銀行で両替する方がレートが高いと聞いていたため、100元しか持っておらず、不便に感じました。そのため、事前にもう少し現金を両替して持っておくべきだったと感じています。

到着後はまず書類の提出をし、学生証を受け取りました。そしてSIMカードや保険の購入、寮の説明、学校で銀行口座を作る場合の申し込みなどができるブースが集まった大きい教室に移動しました。お金が払えなかったため、後払いができるSIMカードだけ変えてもらいました。1ヶ月20GBで80元のプランを選びました。GBの確認や支払いはアプリでできます。

その後、現地の学生に案内され学校から車で10分ほどの寮と、歩いて5分の寮を見学しました。

4月分

部屋の冷蔵庫が使えるようになり、トースターと電気鍋を購入したことで生活面での利便性が向上しました。3月は出前を利用することが多かったのですが、油っこい料理が多く胃が疲れてきたため、食生活を見直しました。現在は、お昼は学校の食堂を利用し、夜はパンやインスタント食品、サラダなど、比較的軽いものを食べるようにしています。その結果、食費の節約にもつながっていると感じています。

また、4月に入り、こちらでの生活にも少しずつ慣れてきたと感じています。最近では、スーパーの出前を利用して買い物をすることも増えました。飲料水や卵などを購入することが多く、生活のリズムもだんだん整ってきました。休日には頤和園を訪れました。

4月末の週はテスト期間で、各授業ごとに日程が設定されていたため、その期間は通常の授業はありませんでした。テスト前には放課後、中国人の友人と一緒に勉強し、お互いに日本語と中国語を教え合いました。とても有意義な時間でした。

今月の生活費の内訳は、食費約1600元、娯楽費約850元、日用品費約460元、水道代100元、電話代50元でした。

ゼミ編

ゼミの指導教員の先生とはWeChatを通じて連絡を取り合っています。先生からは、日本と現地の文化や習慣の違いを記録しておくことや、標識や標語など、興味を持ったものを写真に撮っておくことといった具体的なアドバイスをいただいています。これに基づき、気になった点や疑問に思ったことを随時先生に共有し、フィードバックをいただいています。また、ゼミのLINEグループにも加えていただき、毎週のゼミの内容や他の学生に出されている宿題の内容を

月間報告書　2026年4月分

学籍番号　　留学先　北京第二外国語学院
氏名　　留学期間　2026/04/01～2026/09/19
年次　3年次　　留学区分　派遣留学

共有してもらっています。

月間報告書　2026年5月分

学籍番号　　留学先　北京第二外国語学院

氏名　　留学期間　2026/04/01～2026/09/19

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	中□□□I	中級中国語I	1260	授業
2	中□□□I	中級リーディングI	180	授業
3	中□□听I	中級視聴覚I	270	授業
4	中□听力I	中級リスニングI	270	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

授業は先月に引き続き、1週間8コマの授業で一課進みます。ほぼ毎回穴埋めや短文を作る問題などの課題が出されます。今月は自分の国の建造物を紹介するというテーマです作文の課題も出されました。作文はAI中文というアプリで提出します。

春季実践研学期間には、北京中軸線に関するグループ課題に取り組みました。私は前門を訪れ、現地で撮影など資料収集を行い、中国語による解説動画を作成しました。課題を通して実際に現地を訪れることで、北京の歴史や文化への理解を深めることができた。

No.2

先月に引き続き、週一回2コマの授業で一課進みます。今月は休みや先生の用事が重なり、二週しか授業がありませんでした。普段課題はなく、春季実践研学期間中も特に課題はありませんでした。

No.3

今月は休みが重なり、二週しか授業がありませんでした。単語は授業中に先生が解説してくれますが、各自で事前に予習しておくようにと言われています。

春季実践研学期間には、発表内容をWordで保存し、WeChat のグループに提出するという課題が出されました。

No.4

先月に引き続き、週一回2コマの授業で一課進みます。今月から教科書の内容に入る前の単語解説の時間が増えました。

春季実践研学期間には、中国文化に関するテーマを選び、中国語で2分以上の動画を作成するという課題が出されました。私は「中国人は朝ごはんに何を食べるのか」というテーマを選びました。インターネットで調べたり、中国人の友人に話を聞いたりした内容をまとめ、PowerPointに中国語のナレーションを付けて動画を作成しました。課題を通して、中国の食文化への理解を深めることができました。

Ⅲ．生活編

3月分　6月分に続きます

寮の手続きはたまたまその場にいた日本語学科の学生に手伝ってもらい、学校から近い方の留学生寮に入ることができました。寮の手続きにはパスポートのコピー、入学許可書のコピー、顔写真が必要でした。部屋は4人部屋ですが3人で使用しています。1学期で5500元でした。布団がなかったため日本語学科の学生に1セット貸してもらいました。光熱費や水道代は先払いで、お金を払わないと使えないシステムなのでいつ止まるか分からず不安です。 この日に事前に購入していたVPNの設定も行いました。かべねこの6ヶ月のプランで不自由なく使えています。 友人は無料プランから有料プランへの切り替えを忘れてしまい、再設定に手間取ったので、あらかじめ少し長めのプランを購入しておくと安心だと感じました。

翌日は健康診断があり、バスで病院に移動しました。事前に日本で受けた健康診断の書類を提出しました。レントゲンの原本を忘れたため現地で受けました。料金30元は持っていた現金で支払いました。その後、セキュリティ認証を行い、Alipayが使えるようになりました。 また、その日の午後、銀行に行き、口座を開設しました。合格通知書のコピーとパスポートのみで手続きができました。持っていた日本円もここで両替してもらいました。

4日目にはクラス分けのための口頭試験がありました。その後、学校のATMで日本の口座から人民元を引き出し、中国の口座に入金することができました。部屋には机とクローゼット、2段ベッドしかないので、「口京」というアプリで椅子や物干しラック、ハンガーなどを購入しました。

その後、９日にWeChatの新入生グループでクラス発表があり、クラスで集まってオリエンテーションを受けたあと教科書を購入しました(270元)。10日から授業が始まりました。

授業は一コマ45分で、午前中で終わるため、午後は宿題をしたり、ゆっくり過ごしたりする時間を確保できています。生活に慣れるにつれて、2週間ほどで中国語の聞き取りにも少しずつ慣れてきたと感じました。 休日には現地の友人とショッピングモールに行ったり、公園に出かけたり、漢服体験をするなど、中国の文化に触れる機会を持つことができています。

生活費については、親から Wise を利用して中国の銀行口座に送金してもらっています。 日用品については、学校の中にあるスーパーで購入したり、ネットで購入したりすることが多いです。

5月分

5月は1日から5日が労働節で休み、6日から8日は北京の歴史や文化について理解を深めることを目的とした春季実践研学が実施されました。この期間は通常の授業はありませんでしたが、それぞれの科目で課題が出されました。

今月は休日を利用し、故宮を訪れました。向かう途中には天安門も見ることができ、中国の歴史や文化を実際に感じる貴重な経験でした。

また、学校前の屋台の店員と顔見知りになり、日常生活の中で中国語を使う機会が増えました。学校の外の店でも、中国語での会話や聞き取りが以前よりできるようになったことを実感し、自身の成長を感じています。

さらに、一人で過ごす時間も大切にするようになりました。放課後は学校に残って課題に取り組んだり、趣味の編み物をしたりする時間を作りました。

一方で、同じ寮の見知らぬ生徒から声をかけられたり、夜にドアをノックされたりしたこともあり、海外で生活する上では防犯意識を持たないといけないと改めて感じました。

今月の出費は、食費約1600元、娯楽費約2200元、日用品代約400元、水道代100元、電話 50元でした。

ゼミ編

5月も引き続き、WeChatを通じてゼミ担当教員と連絡を取りながら研究の方向性について相談しています。日常生活の中で気づいたことを報告し、フィードバックをいただきました。また、LINEグループで共有されるゼミの連絡を確認しながら、研究テーマについて検討し始めました。現在は研究テーマの決定に向けて、中国での生活経験や日常で感じた文化・習慣の違いなどに着目しながら、題材を探しています。

月間報告書　2026年6月分

学籍番号　　留学先　北京第二外国語学院

氏名　　留学期間　2026/04/01～2026/09/19

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	中□□□I	中級中国語I	1710	授業
2	中□□□I	中級リーディングI	360	授業
3	中□□听I	中級視聴覚I	540	授業
4	中□听力I	中級リスニングI	270	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

第12課までが期末テストの試験範囲でしたが、授業時間に余裕があったため、第13課まで学習が進められました。その後、復習プリントが配布され、期末テスト前の最後の2回の授業では、そのプリントの答え合わせと復習、解説が行われました。

No.2

リーディングの授業では特に試験範囲の指定はなく、最後の授業も通常通り教科書の問題に取り組みました。

No.3

視聴覚の授業では、期末試験として口語試験と筆記試験が実施されるため、テスト前最後の授業では口語試験として1分間の発表を行いました。

No.4

テスト前最後の授業では、HSKと同じ形式の練習問題に取り組みました。また、その授業で期末テストの試験範囲が発表されました。

Ⅲ．生活編

3月分

また、食事については、学校がある日の昼食は主に学食を利用しています。最も安い食堂では好きなおかずを選んで一食10元ほどで食べることができます。ただ、この食堂はAlipayやWeChatPayを利用する場合、こちらのQRコードを機械にスキャンする方式しかなく、私はそれが使えなかったので学生証に余っていた現金をチャージし、それで支払っています。 学校内には日本料理や韓国料理などが食べられるところや、フードコートのようにさまざまな種類の料理を選べるところなど、色々な食堂があります。 夕食は「美□」というアプリで出前を利用することが多いです。1食あたり20～30元前後で、すぐ届くデリバリーを安い値段で気軽に利用できる点が便利だと感じています。

また、現在のところ、日本人であることを理由に何かされたり不安を感じるような出来事はなく、安心して生活できています。

今月の出費の内訳は、寮費（1学期）5500元、食費約2000元、娯楽費約1800元、日用品約700元、保険代（1学期）400元、光熱費150元、部屋のWi-Fi代（1学期）150元、携帯代80元、水道代50元でした。

6月分

今月は学内外での活動を通して中国文化への理解を深めるとともに、中国語学習への意欲を高めることができました。

まず、日本語学科の演劇大会を鑑賞しました。出演する友人に招かれて参加しましたが、司会進行や公演がすべて日本語で行われており、学生たちの高い日本語能力に感心しました。自分自身も中国語学習をより一層頑張ろうという意欲が高まりました。

また、休日には日本語学科の友人と一緒に勉強する機会がありました。友人は日本語を学習しているため、日本語を教えたり、日本語の意味を中国語で説明したりしました。中国語を使って日本語を説明することは難しかったですが、自分自身の中国語力や日本語への理解を見直す良い機会となりました。

さらに、国家博物館を訪れました。服飾や食文化の変遷、青銅器や仏像など幅広い展示を見ることができ、中国の歴史や文化について理解を深めることができました。

これらの経験を通して、中国語学習への意欲をさらに高めるとともに、中国の歴史や文化への理解を深めることができました。

また、今月は学生寮の滞在延長手続きも行いました。大学から、今学期に卒業する学生は6月29日までに退寮すること、引き続き滞在する場合は事前に延長申請が必要であるとの案内がありました。学内で申請書を印刷し、国際交流担当部署で承認印を受けた後、財務窓口で延長費用を支払いました。11日間の延長で462元でした。

今月の出費の内訳は、食費約1500元、娯楽費約1300元、日用品代約200元、電話代80元、光熱費50元でした。

ゼミ編

先月に引き続き、先生から最近印象に残った出来事や興味を持ったことについて質問を受け、意見交換を行いました。また、中国語を学習する中で難しいと感じた表現や疑問点について相談し、先生からアドバイスをいただくことで理解を深めることができました。日常生活で感じたことを振り返りながら、中国語学習についても改めて考える機会となりました。

月間報告書　2026年7月分

学籍番号　　留学先　北京第二外国語学院

氏名　　留学期間　2026/04/01～2026/09/19

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	中□□□I	中級中国語I	90	授業
2	中□□□I	中級リーディングI	90	授業
3	中□□听I	中級視聴覚I	90	授業
4	中□听力I	中級リスニングI	90	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

7月は授業がなく、期末テストのみが行われました。テストでは、復習プリントの内容を中心に、単語の組み合わせ、語句の並び替え、指定された単語や文法を使って空欄を埋める問題などが出題されました。また、教科書には掲載されていない長文読解問題や、一度宿題として取り組んだテーマの作文も出題されました。

No.2

7月は授業がなく、HSKの閲読形式の問題が期末テストとして出題されました。

No.3

7月は授業がなく、期末テストのみが行われました。口語テストでは、二つのテーマの中から一つを選び、1分間の発表を行いました。筆記テストでは、授業で使用した教科書6冊のうち5冊が試験範囲となりました。動画を見ながら文章の穴埋め問題や正誤問題を解く形式で、すべて選択問題でした。

No.4

7月は授業がなく、教科書の内容とHSK形式のリスニング問題が期末テストとして出題されました。

Ⅲ．生活編

7月1日から6日までは期末試験期間だったため、試験勉強に集中して過ごしました。

帰国準備では、スーツケースに荷物が入り切らなかったため、冬服などを日本へ発送しました。まず郵便局で一番大きい段ボールを8.8元で購入し、自分で荷物を梱包しました。その後、寮まで荷物を取りに来てもらいましたが、最初に提示された送料は1,270元と高額だったため、改めて郵便局へ行き、船便を利用して

600元で発送してもらいました。

また、現地で知り合った日本人の友人と食事に行ったり、家族や友人へのお土産を買いに出かけたりするなど、帰国前の時間を有意義に過ごしました。

帰国前には北京ユニバーサル・スタジオを訪れ、日本にはないエリアやアトラクションを楽しみました。特に中国限定のグッズや園内の雰囲気が印象に残り、北京ならではの魅力を感じることができました。　7月10日には留学生の修了式が行われ、皆勤賞や学業優秀賞などの表彰式に参加しました。留学生活の締めくくりとして、先生やクラスメートと最後の時間を過ごし、充実した留学生活を終えることができました。

修了式後、成績表を受け取り、寮へ戻って荷物の最終確認や部屋の清掃を行いました。その後、タクシーで北京首都国際空港へ向かい、日本へ帰国しました。飛行機は約1時間遅れての出発となりましたが、時間に余裕を持って行動していたため、空港で食事を済ませるなど落ち着いて帰国準備を進めることができました。

ゼミ編

帰国前は、グループLINEを通してゼミの活動内容や今後の予定を確認し、帰国後のゼミ参加に向けて情報共有を行いました。

帰国後、7月15日のゼミに参加し、指導教員の先生に帰国報告を行いました。先生へ無事帰国した旨を報告し、今後のゼミ活動への復帰についてお話ししました。あわせて、ゼミ内で行われた先輩方の中間発表を聴講し、先生からのフィードバックや質疑応答を通して、研究の進め方や発表形式について学びました。留学での学びを活かし、次期に向けた準備を進めていきます。